

編集後記

●今年1月、当院でもとうとう電子カルテが導入されました。だいぶ慣れてきたためか思ったほど不便ではなく、院内どこでもいつでも情報がみられるなど利点もたくさんあります。しかし、診療能率は悪く、動物として不自然とされる真正面の長時間注視、融通のきかないデジタルデバイスとむきあう緊張感が相まって毎日疲労感に悩まされています。(電子カルテ導入についてのエッセイを投稿する予定でしたが、仕事が終わると視力・集中力低下が著しく余力がないため編集後記で失礼します。) コンピューター関連産業の活性化→経済効果、診療能率低下→患者数整理→医療費抑制も目的の一部では、なんて穿った見方もしてしまうこの頃です。(河原由恵)

●2001年3月発行の神皮8号から編集の仕事にかかわるようになり早12年、途中委員長までさせていただきましたが、皆様方のおかげで毎号内容の充実した楽しい会誌になっていることをこの場を借りて感謝いたします。さてこの編集後記をもってワタクシ編集委員を卒業させていただきます。実は委員会だよりに釣果を載せるのがひそかな楽しみだったので、これができなくなるのが一番残念です。今後は幹事長日誌が釣り日誌にならないように気を付けまーす。(川口博史)

●相模湾を一望できる大磯病院。波の音が聞こえてきそうなこの病院で、きらきらしている自然光を味方につけ皮膚科診療に励む日々。臨床業務中心となり、ふと医師として初心に返る瞬間は自分に投影し光と影を楽しむ今。病院は350床の新しくもない建物ですが5階レストランの壁は透き通る空、おいしいような雲そしてさらさら波打つ海。私の自慢です。明るい空の下、大磯病院と神皮会の明るい未来を祈念し編集後記とさせていただきます。(田宮紫穂)

●我が家の犬が2匹になりました。新しい犬は茶色のトイプードルで名前は「あずき」です。まだ小さいので場所をかまわずオシッコやウンチをするため世話がやけます。ゴミ袋はいつもオシッコシートでいっぱいです。でも犬は可愛いです。(山本 修)

●我が家の愛犬はスムーズ・コートのチワワ。体育会系の筋肉質のボク、9歳。このところ中年太りでとうとう体重が8kgをこえています。見た目はとても元気ですが実はM弁閉鎖不全や尿管結石の持病があり獣医さんにどっぷりお世話になっています。そのボクが3ヶ月以上前から左耳を掻破…。皮膚科医のプライドにかけて石鹸洗浄、抗真菌剤からステロイド剤、アズボチ etc 各種の外用剤を塗布しましたが一向に改善されず、夜中にボリボリ、しまいには掻きすぎてキャイ〜ン…。一緒に寝ている私も目が覚めるようになりとうとう獣医さんに申し出たところ、サワシリン内服と耳の洗浄ですぐに軽快しました。私が皮膚科医とご存知の獣医さん、「確かずっと治らないって言ってましたよね?」とおっしゃりお互い苦笑い…。トホホ、やはり餅は餅屋ですね。(高橋さなみ)

●京都の日皮総会に行ってきました。教育講演もランチョンも9会場の横並びで、あっちへ行ったりこっちへ行ったりで落ち着きません。会誌もA4になって重かったのですが、iphoneアプリのプログラムは役に立ちました。ブックマークをしておく、講演の予定時間にバイブで知らせてくれます。ポスターも全部PCで見られるようになっていたし、学会運用の新機軸を味わいました。(浅井俊弥)

●冬の寒さが長引き天候不順が続いていましたが、最近、竜巻や雷雨などの異常気象による被害も相次いでおり、今年も相変わらず、自然災害が頻発しているようで、注意が必要です。私も今年こそは編集後記を早く書こうと思っておりましたが、相変わらず締め切りギリギリになって書いている始末です。(小野秀貴)

●小田原青少年少女合唱隊、知る人ぞ知る世界的レベルの合唱隊。今年もイタリアのコンクールで金賞をとりましたが、が、少子化の波はここにも!創立50周年を前に存亡が危ぶまれているという…。サミシ〜!人口ピラミッドはカメムシちゃん。10年後、20年後、日本の人口はどんだけ〜?今のままで15年後には医師過剰必至と言われているのに医学部新設を唱う悲しき政治パフォーマンスよ、今、神奈川はもっと防災ではないのかい?そんなわけで、私めしばらく県市防災に専念させていただくことになりました。またお会いする日まで!(大林寛人)

神皮〈第19号〉

2012年7月1日発行

発行 神奈川県皮膚科医学会

発行人 栗原誠一

〒254-0043 平塚市紅谷町14-24

電話 0463-21-3031

制作 かまくら春秋社

■表紙のことは

「極楽寺坂(成就院前)から由比ヶ浜を望む」

司馬遼太郎の「街道をゆく『三浦半島記』」に以下のような記載がある。鎌倉時代の日記文学「とはすがたり」の著者後深草院二条は出家して尼になり、鎌倉に向かう。江ノ島の岩屋で一泊し、極楽寺に詣でた後、化粧坂という山を越えて、鎌倉の方を見れば……とある。さらに坂を下って由比ヶ浜にでたという。二条尼は極楽寺坂を上りながら、化粧坂という地名のよさが気に入ってつい取り違えたのにちがいない。

遠くは二条尼に、近くは司馬さんに想いをはせる、極楽寺坂である。6月には坂の左右にあじさいが咲き、明月院に勝るとも劣らない名所である。(山田裕道)